

## 1. 研究課題名

食道亜全摘術・胸骨後胃管再建における経鼻栄養チューブの意義

## 2. 試料・情報

### (1) 利用目的

食道癌手術では合併症を減らすために様々な工夫がなされています。食道癌手術では術後の経腸栄養目的に経皮経胃に栄養チューブを留置することがしばしばなされていますが、留置することによる合併症も認められています。当センターでは2024年1月より経皮経胃ではなく経鼻にて栄養チューブを留置することとしました。本研究では、留置経路を変更することで合併症がどのように改善されたか検討することを目的としています。

研究期間は承認日から2024年12月までです。

### (2) 利用項目、提供方法

本研究は、2021年1月から2024年10月の間に、食道癌手術を受けられた方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、年齢、性別、臨床的 stage、血液データ、栄養チューブの経路、合併症などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

ただし、当センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報を提供したのか、後からでもわかるように管理をいたします。

### (3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 胃・食道外科 風間義弘

### (4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

## 3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

## 4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当 : 胃・食道外科 風間義弘